

一般社団法人島根県臨床工学技士会
2019年度 第1回理事会議事録

- 開催日時：2019年5月11日（土） 午前10時00分
- 開催場所：web 会議
- 理事・監事の数および出席理事・監事の数並びにその出席方法
 - (1) 理事の数 12名、監事の数 2名
 - (2) 出席理事の数 6名、出席監事の数 2名
- 出席理事の氏名 福田 勇司、明穂 一広、安井 宏治、福島 成文、澄川 隆、加藤 智久
- 出席監事の氏名 原 敏郎、来間 勇治
- 議長の氏名 福田 勇司

(議案)

1. 平成31年度 第1回 中四国臨床工学技士会連絡協議会の件

議長が、本件について事前配布した資料をもとに報告をおこなった。
報告を受け、議案案件であった以下の内容について協議をおこなった。

① 組織委員について

組織委員としての役割を考慮すると、代議員とは別の者を選出するよりは代議員が組織委員として活動するのが良いという意見が多くあった。
島根県としては、組織委員を代議員がおこなうこととなった。

② 日本臨床工学会の開催地について

現行どおり各県で開催する場合と、政令都市に限定する場合でそれぞれ良い点悪い点があり、どちらかに統一する決めてがない。島根県としては、全体で決められた方向性に対応していくことになった。

学術委員会からは、第9回大会の進行状況と個人情報の管理に関するお詫びの報告があった。あわせて第10回大会についての報告あり、会期が2020年10月17日～18日、場所は米子コンベンションセンターで開催予定である。

議長は、若手委員会の報告を福島理事に報告させた。

各県の活動報告をしてもらった。内容としては一般の方向けにCEの知名度アップに関するイベントや、会員向けに社会人として役立つセミナー等を行っていた。中四国若手委員会のホームページ（3海ネット）の運用方法の確認をした。

中四国若手委員会の細則変更を行った。日臨工の人材活性化委員会の中四国代表委員は、この若手委員会という委員長とは異なる。日臨工の中四国代表委員は若手委員会で選出し、この協議会で承認を得た。

5月の日臨工(岩手)で各県若手委員のポスターを掲示発表することとなった。
第9回中四国臨床工学会で昨年中止となったYボードワークショップを行うこととな

った。メルマガ Y ボードのチラシを受付で配布する予定。各県の活動報告ポスターを掲示することとなった。

各県でのイベントのやり方などをラインワークスというソフトを用いて情報共有していくこととなった。

2. 第9回中四国臨床工学会についての件

議長が、本件について配布資料をもとに報告した。

① 登録演題数について

現時点で登録数は11演題である。目標演題数に達していないため引き続き県内外へ周知をおこなっていく。

② 事前登録について

5月7日より登録を開始した。既に県内外へ案内をおこなった。現在の登録人数は4名である。スタッフの参加登録が必要であることの周知をおこなった。

③ 一般演題座長依頼について（他県技士会）

事務局より中四国8県の技士会事務局へ座長依頼を行った。

各県2名程度を依頼。締切を6月21日（金）とさせていただいた。

島根県ご施設の皆様への依頼は、理事会で検討した内容を考慮し、後日会長から依頼することになった。

④ 協賛メーカーについて

現時点で広告は、19社社募集があり、展示は27社申し込みがある。展示に関しては、目標数に到達しているが事前にご協力の申し出があった企業が未申し込みのため、展示会場を増室して対応することになった。

他の企画についてもメドトロニック以外は内諾を得ている。

⑤ 大会期間の宿泊施設について

事前参加申込が開始にあわせて宿泊支援システムについて確認をおこなった。開始期日は6月20日頃を予定しており、170室確保している。

開始期日を早めてもらうように依頼をしている。

⑥ 大会役割担当について

事前に配布した資料の内容で了承を得た。各会場のMC担当とPC担当は運営上1日目、2日目を同一人物にすることになった。学生の協力については、再度学校側と協議することになった。

3. 教育担当についての件

議長は、本件に関して明徳理事に報告させた。

① 第2回島根県臨床工学技士会学術大会について

参加人数は103名であった。収支については別紙を参照。

振り返りとしては、全体的に良かったが当日の運営等で再度検討する点もあった。改善点を修正し継続しておこなっていく。広告、展示等の入金期日を調整する。

② 体験イベントについて

加藤理事より報告があった。企画内容は例年通りを予定している。前年度は4団体が非共催で同じ日におこなったが、今年度は言語聴覚士会と共同開催となる。開催日は7月21日を予定している。開催場所は、ゆめタウンやイオンモールを候補として検討したが、設備（コンセントの配置）や使用料金を考慮すると例年通り、出雲医療看護専門学校をお借りすることになった。当日の手伝いについては早めに知らせて頂けるとスタッフを派遣しやすいので詳細が決まり次第報告することになった。Yボード担当委員7名もサポートが可能である。

③ 年間行事について

例年通りの内容を予定している。但し、CEミーティングが鳥居薬品の撤退により今年度が最後となる。今後の対応については、担当者から報告がある。

④ 研究会のお知らせ

Jasect 地方会が6月22日に島根大学医学部附属病院にて開催される。また、7月27日に体外循環セミナーをテルモ株式会社協賛で予定している。

⑤ 教育担当について

教育担当の選出をおこなった。対象者の施設代表宛に連絡をしており承認待ちである。年間を通じてサポートして頂くことになる。

4. 広報担当についての件

議長は、本件に関して安井理事に報告させた。

5月末にたよりの発行を予定している。担当者へ原稿の依頼があった。

5. 広報担当についての件

議長は、本件に関して福島理事に報告させた。

年会費を5月末に引き落とす予定。未手続き者は10名いる。リストを理事で回覧し手続きの促しをする。

6. 事務局担当についての件

議長は、本件に関して代理である福島理事に報告させた。

現在会員数が161名、その内3名は免許番号がまだ届いていないため保留状態である。第2回学術大会に協力(展示および広告)して頂いた企業へお例文とプログラムを郵送してある。また、賛助会員申込みは、現時点で4社。

連盟加入者は49名であり、引き続き加入への周知をおこなう。

会誌の広告掲示について問い合わせがあり、広報の安井理事に対応して頂き再度理事

会で検討することになった。

7. 次回理事会開催日の件

議長より、6月1日もしくは8日での提案があった。後日理事および監事に対して確認して決定することになった。

議長は、以上をもって本日の議案審議を終了した旨を述べ、午前11時15分閉会した。以上の決議を明確にするため、この議事録をつくり、出席理事及び監事がこれに記名押印する。

2019年5月11日

一般社団法人島根県臨床工学技士会 2019年度 第1回理事会

議長理事 福田 勇 司

理 事 明 穂 一 広

理 事 安 井 宏 治

理 事 福 島 成 文

理 事 澄 川 隆

理 事 加 藤 智 久

監 事 原 敏 郎

監 事 来 間 勇 治